

志桜小だより



カラー版をご覧ください。

7月号②

学校ホームページ <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shiozze/>

学校メールアドレス web-shio@hodatsushimizu.jp

宝達志水町立志桜小学校

TEL 29-2052

FAX 29-2069

校長 宮下 慶子

- めざす児童像
- 目標をもち 自ら進んで学び よく考える知恵のある子
 - 強く しなやかな心をもち 温かな人間関係をつくれる子
 - 困難に打ちかつ気力・体力のある子



実いある夏休みに 成長の夏 安全な夏

1学期中には、たくさんのご協力・ご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。



こんにちは、校長の宮下です。開校して4ヶ月、「創る」「融和」をキーワードに、1学期は子ども達どうしのつながり、新しい学校の基盤づくりを最優先に過ごしてきました。子ども達は新しい環境にも慣れ、友だちも増え、元気に学校生活を送っています。

もうすぐ長い夏休みがスタートします。子ども達にとってウキウキする夏休みです。7月18日(金)は、1学期終業式、その後は、44日間の夏休みです。この夏休みが、子ども達の心や体、そして頭を成長させる夏休みになって欲しいと思います。

学習面では・・・夏休みにしかできないことに時間をかけて取り組むチャンスです。科学作品や応募作品等夏休みの宿題があります。締め切りに間に合うように、丁寧に取り組むようにしてください。

体力面では・・・ラジオ体操に参加させましょう。早寝早起きのリズムは、2学期につながります。3食しっかり食べて、プールにも泳ぎに来て、暑さに負けない体づくりと体力向上を目指しましょう。

生活面では・・・チャイムの無い生活になります。家の手伝いに取り組ませてください。家の仕事を1つか2つ決めて、続けるように後押しをお願いします。

小学生新聞を読んで感想を書いています。

ほうだつ し みずちょう
宝達志水町



志桜小開校 33人が入学 ～学校統合で新設～

今年度開校した宝達志水町の志桜小学校で4月7日、初の入学式が行われ、新入生33人が新たな生活へ期待を膨らませました。

志桜小は志雄、樋川の2校が統合しました。全校児童数は198人です。校章は桜をモチーフに愛情に包まれる児童をイメージしたデザインになっています。校歌は町出身の声優寺島拓篤さんが作詞を手掛け、「桜の里」の景色などを盛り込んでいます。

初年度のキーワードは「創る」と「融和」です。旧2校の良さを融合し、新しい歴史をつくっていくことと教職員、児童ともに張り切っています。

同町では今年度、相見、押水第1、宝達の3校が統合した押水小学校もスタートしています。

今年度開校した宝達志水町の志桜小学校で4月7日、初の入学式が行われ、新入生33人が新たな生活へ期待を膨らませました。



志桜小学校が、「北国小学生新聞」に掲載されました。

入学式で歓迎を受ける新入生＝宝達志水町の志桜小学校

六年 竹田 小桃

私は、志桜小学校の児童になれてとってもうれしいです。樋川小の時は、九十八人しかいませんでした。でも、ふたつの小学校が統合したことで、友達も増えたと、先生も増えたのでよかったです。

入学式も三十三人の新入生が志桜小学校の児童になれるのでとっても楽しみでした。そして、たくさんの友達ができたのでよかったです。

六年 丸山 和夏

私は、この記事を読んで「志桜小学校の校章ってこういうイメージだったんだ」と知りました。また、統合のキーワードを見て、「これからも、『創る』と『融合』を意識しながら、『新しい志桜小』を創っていきな」と思いました。

私たちは、志桜小学校初の卒業生になるから、それにふさわしい六年生になりたいと思います。



7/3 たてわり班遊び 志桜っ子はとてもhappy!



新しい志桜小学校のたてわり班は、全部で16班あります。赤白8班ずつです。7月3日の掃除の後各班がクーラーのきいた涼しい部屋に分かれて、それぞれの班の6年生が考えた遊びを楽しみました。「絵しりとり」や「ころがしドッジボール」「聖徳太子ゲーム」等短い時間でしたが、子ども達のたくさんの笑顔☺が見られました。



不審者対応訓練と防犯教室で いざという時に備えました。



7月8日、羽咋警察署の小見さんをお迎えして不審者対応訓練と防犯教室が行われました。体育館から、警察署員さん扮する不審者が校舎に侵入したという想定で行われました。

教職員が、不審者役の警察官に声をかけながら児童が避難した施設された教室への移動を阻止しました。その後、刺股の効果的な使い方や不審者への対処法についてご指導いただきました。志桜っ子は騒ぐことなく、落ち着いて行動することができました。

その後の防犯教室では、合言葉の「いかのおすし」を確認しました。後、不審者に連れ去られそうになったら、**大声を出すこと・防犯ブザーを使うこと、ランドセルを置いて逃げる**こと等を教えていただき自分の身は、自分で守ることの大切さを学びました。夏休み前に、ご家庭でも、お子さんと確認してみてください。



7/9 香川友プロと スナッグゴルフを体験

5年生



志桜小学校に、史上最年少でプロゴルファーになった香川友さん(16歳)がやって来ました。手軽に楽しめる「スナッグゴルフ」で5年生と交流しました。香川プロはクラブの握り方やスイングを教えてくださいました。お手本のショットを見た子ども達は大笑し!

その後、児童代表の松田周磨さんと対決したり、給食と一緒に食べたりしました。午後からは、1歳からゴルフを始めたお話などを通して、夢をもち、自分を高める努力を続ける大切さや負けたくない強い気持ちについて学びました。



香川プロからのキャップにサインをもらう周磨さん



シリーズ
非認知能力

志桜小学校では
こども達の**非認知能力**を
大切に考えています。

志桜小学校では、開校とともにこども達の「非認知能力」をすべての教育活動のベースにと考えています。(子ども達には、下図の様に「3つの力」として伝えていきます。)

今回は、岡山大学准教授 中山芳一氏のコメントの抜粋です。

「非認知能力...いろいろな表現がありますが、心や気持ちなど『内面的な能力』にとらえるとわかりやすいですね。」

学童保育も運営する中山氏。「よく、親御さんから『非認知能力は、どうやって育てるのですか?』と聞かれます。でも、非認知能力は、<育てる>のではなく<伸びる>もの。その主体はあくまで子どもなのです。大人ができるのは、伸ばす素地を整えたりきっかけを与えたりすること。伸ばすのは子ども自身なのです。」『AERA with Kids』(朝日新聞出版)より



中山芳一氏

非認知能力は、
すなわち
「心の力」
なのです。

